

弥五郎どん祭りへの道



弥五郎どん祭りについて講演を行う所崎さん

1月17日、大隅中央公民館で南峰文化研究会による弥五郎どん祭りについての講演会が開かれました。

講師は、鹿児島県民俗学会所属の所崎平さん。講演では、日本各地の浜下りや隼人の伝説、岩川の歴史について触れ、祭りの起源に迫りました。ユーモアを交えながらも核心を突く講演内容に、集まった約50名の歴史愛好家たちは興味深く耳を傾けていました。研究会代表の勝目興郎さんは「地元の人たちが祭りへの理解を深めるきっかけになれば」と話しました。

火災から文化財を守る



社務所から出火したと想定しての訓練

1月26日、文化財防火デーに合わせ、投谷八幡宮（県指定）で消火・避難訓練が行われました。

文化財防火デーは昭和24年1月26日に法隆寺金堂が消失したことを期に制定され、この日は全国で訓練が行われています。当日は、雪の残る神社境内で神社関係者や保存会の方など約20人が訓練に参加しました。

宮司の柏木勝弘さんは「今回の訓練を通じて、受け継いだ伝統と文化を後世に残し伝えることの大切さを再認識しました」と話しました。

新春「幸運の財大吉」神社巡りツアー



神社境内で昼食をとる参加者

1月3日、曾於市観光特産開発センターが「幸運の財大吉」神社巡りツアーを実施しました。

旧3町の一文字をとると縁起のいい「財大吉」になります。新年に市内の神社を参拝してもらい、良い年になるようにと願いを込めて企画されました。巡った神社は、投谷八幡宮など6つ。鹿児島から参加した24人は、ガイドの吉川さんの説明を聞いた後に、心を込めて参拝していました。名前の入った中級の認定書やお守りなどが参加者にプレゼントされました。

末吉高校家庭クラブ いきいき教育活動賞



横断幕の前に笑顔みせる家庭クラブの皆さん

1月28日、末吉高校家庭クラブが県教育委員会から「いきいき活動賞」を受賞し学校に横断幕を掲げました。

同クラブは長年にわたり、郷土料理などの研究を熱心に行い、休日返上で地域のイベントやボランティア活動に参加し地域を盛り上げてきました。同クラブ会長の永川知佳さんは「ボランティア活動で多くのことを学び成長できました。このような賞をいただいたのも先輩方や支えてくださった方のおかげ。曾於高校の後輩にはさらに頑張ってください」と話しました。



黒豚肉を味わう財部南小の皆さん

ナンチュクが小学校に黒豚肉を提供

2月8日、南九州畜産興業株式会社（ナンチュク）が財部南小学校に黒豚肉を提供しました。

年2回、曾於市、志布志市、大崎町の小中学校に、地産地消と食育の一環として黒豚肉を提供しています。（10年目）

この日、提供された黒豚肉は「黒豚キムチ鍋」として児童に振る舞われました。同小3年の藤安穂さんは「やわらかくてとても美味しい。これからナンチュクのお肉を食べていきたいです」と笑顔で話しました。



財部北小平野校長（左）と中谷小若松校長（右）

チャリティー収益金を小学校へ寄付

1月26日、曾於市消防団財部方面隊が中谷小学校と財部北小学校に寄附金1万5千円を贈呈しました。

昨年12月6日に曾於市消防団財部方面隊親善ゴルフ大会を開催。チャリティーとして3万円の収益が出たため、昨年に引き続き、地域の子どもたちのために役立てたいと寄付を行いました。

財部方面隊長の落合秀雄さんと副隊長の野村治雄さんは「寄付金は子どもたちが必要とするものに使ってください」と話しました。



増田選手（左）へ樺をつなぐ有馬選手（右）

県下一周駅伝 郷土で力走

2月13日から17日にかけて、第63回鹿児島県下一周市郡対抗駅伝競走大会が開催されました。

16日、郷土入りでの日間優勝を狙う曾於チームは9区の時点で3位。10区の飛松選手（JAそお鹿児島）が驚異的な追い上げで始良を抜き2位に浮上。1分30秒あった鹿児島との差を18秒まで縮めました。飛松選手の力走に観客からは惜しめない拍手が贈られました。総合成績では4位と5年ぶりにAクラス復帰を果たしました。



感謝状を手にする山口さん

市民の人権を守っています

12月31日付けで、人権擁護委員として3年間（1期）にわたり活動されてきた山口紀志子さん（財部町上十文字）が退任されました。

同委員として永年尽力された山口さんには鹿児島地方法務局長から感謝状が贈られました。山口さんの後任として花房親志さん（財部町城山）に1月1日付けで法務大臣から委任状の交付がありました。

人権擁護委員の皆さんは、各種活動をとおして、市民の人権を守るために尽力されています。